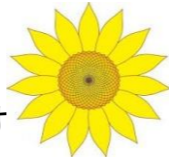


## ご挨拶 院長 佐藤志津子



8月中盤に突入し、暑い日が続いています。残念ながら今年も猛暑だそうで熱中症については、みなさん結構気をつけてくださっていて、頼もしいです。突然の雷雨にも要注意。何度か雷で停電しましたね。中野、杉並あたりでは5分ほどで復旧しましたが、三鷹では30分ほど停電が続きました。突然の停電でパニック状態になってしまった、というお話を、何人かから伺いました。みなさん、この機会に災害対策を確認してくださいね。とりわけ、呼吸器や吸引器、在宅酸素などの医療機器を使っておられる方。いざという時にあわてないよう、内部バッテリーがついているか、外部バッテリーはあるか、何時間持つか、などなど、確認しておいてください。当院でも情報は把握していますので、よくわからない方はお尋ねください。

**\* さくらクリニックのホームページについて \***  
更新できない状況が続き、ご心配をおかけしました。間もなく復旧できる予定です。随筆や作品をあずけてくださっている方々、申し訳ありません！ もう少しだけお待ちください。

## スタッフ紹介

### 医師 山崎 智久 先生

#### Q1. 私はこんな人...

本年4月より木曜日にさくらクリニック一員として訪問診療をさせて頂いています。木曜日以外は中野総合病院で呼吸器内科医として働いております。人からは「明るい」「話し好き」と言われますが、実はお天気が悪くなると片頭痛が起こるなどナイーブな一面もあります。総合病院に勤務している利点をいかしながら皆様のお役に立ちたいと考えております。どうぞ宜しくお願い致します。



#### Q2. さくらクリニックで働いてみて...

第一に感じることは、患者様が病院でお会いするよりも自宅にいらっしゃる方が断然リラックスした明るい表情をしておられるということです。皆様と共に明るい笑顔でいられるよう頑張りたいです。

#### Q3. 趣味

音楽鑑賞で、学生のときからクラシック音楽とオーディオが大好きな、古いタイプの「アキバ系男子」です。

### 医師 深谷 純子 先生

#### Q. 私はこんな人...

おじいちゃんおばあちゃん達と話すのが大好きで、神経内科医になりました。性格はのんびりマイペース、ちょっと頑固なところもあるB型です。

#### Q. さくらクリニックで働いてみて

急性期病院とは異なり、一人一人にじっくりと時間を使えるところ、また生活面でのサポートをより身近でお手伝いできるところにやりがいを感じます。

#### Q. 趣味

愛犬と遊ぶこと。(チワワがいます) ミュージカルや音楽鑑賞、バイオリンをちょっと弾きます。スポーツは、F1とお相撲、フィギュアスケートを見るのが好きです。



## 母の針仕事 芦川洋子様



母は軽い風邪がもとの脱水症状で入院した翌日から、食事が飲み込めなくなりました。突然の入院による環境の激変、持病の糖尿病に加え誤嚥性肺炎を併発し、抗生物質と水分補給のための点滴、オムツの着用、嚥下障害など、母は身体的に大きなダメージを受け、意識も低下して会話によるコミュニケーションも難しくなったのです。治療のための入院ですが、毎日面会に行っても母を身近に感じることはできないもどかしさが募りました。主治医の先生からは胃ろうの説明があり、家族として判断をしなければなりません。胃ろうを造らない場合は、自然死を受け入れる覚悟を持つことも示唆されました。胃ろうの本を読んだり、人にも相談しましたが、悩みは深まるばかり、その判断のための唯一の方法は、感性だけで母と気持ちをひとつにすることでした。そして「母は帰りがっている。母を家に帰そう！」と決め、経管栄養法をしないで自宅に戻った場合の、母の余命を先生に訊ねました。「家に帰って3日で亡くなる方もいれば、1週間、3週間、1ヶ月、3ヶ月先という方もいらっしゃる。しかし、一年は難しい。」と、先生は話されました。それを覚悟の上で、自宅で母を看取りたい。私達家族の意向に沿って、在宅医療機関と家族の間をつないでくれる連絡室の方の尽力で、母は入院から六週間後の12月3日に自宅に帰ることができました。

在宅で母を診てくださるさくらクリニックの佐藤院長はじめ宮本先生、訪問看護の看護師さん、毎日のケアをしていただくヘルパーさんの手厚い看護のもとで母の在宅療養がはじまりました。まもなく母は落ち着きを取り戻し、体調も安定してきました。1日ひとつでよいから楽しいことを見つけようという思いで在宅介護に入りましたが、嬉しいことが思いのほか多い毎日でした。家に戻った母はしばらく、記憶のなかの最も居心地のよい場所を探しているようでした。そこは幼少の母が病弱のため1年間休学し、両親の看護のもとで過ごした頃のようなようです。まもなく私を「お母さん」と呼ぶようになったので、私も「雪つ子ちゃん」と呼びかけ、母性本能全開で寄り添いました。その一方で、私の顔を見て「幸せそうな顔をしているわね～」と微笑んだあと、真顔になって「でもこれから、だんだん大変になるの？」と、私の行く末を案じる母の表情になるのでした。

母を在宅で見る経験から、私は人に寄り添うことの喜びを、少しだけでも学ぶことができました。そこにはさくらクリニックの諸先生と、医療スタッフ皆様の、昼夜を通じた診療体制があったからです。24時間の緊急連絡体制で、家族の不安に丁寧に対応して下さる。これほど心強い支えはありません。そのおかげで母は新年を迎えることができ、1月10日に89歳の誕生日を祝うことができました。小康状態を過ごした母は、しだいに経口での栄養食品の摂取も難しくなり、私も覚悟を決める時が迫りました。私は母の最後の日を受け入れるために、針仕事の好きだった母のパッチワークの作品を室内に飾りました。それを見た母は寝たままの状態、無意識で針に糸を通し、結び目をつくり、自分の掛けている布団カバーの端を持ち、縫い物をはじめました。この架空の針仕事をする母は、命果てるまでの一日一日を懸命に生き、一呼吸一呼吸を真剣に行っている姿として、私の脳裏に深く刻まれました。1月20日未明、母は眠るように静かに永眠しました。さくらクリニックの佐藤院長はじめ、母を最後まで見てくださった皆様、深い感謝をこめて御礼申し上げます。



### 鈴木 荘太郎 様

通所先で絵を描くことで集中力をつけるために、絵画教室を勧められたことがきっかけで始められました。初めは上手いかなかったけれど、今では色使いや描き方など慣れてこられ、なんと今年度の東京都障害者総合美術展に選ばれて展示されました！すごいです！怪我が無ければ出会わなかった絵画の世界。とても楽しい時間を過ごされていますとお聞きしました。

※交通事故にて頭部外傷を負い左片麻痺があり、現在リハビリ大奮闘中



## 夏バテ防止6か条



- ①適度にエアコンを使用する
- ②こもり熱に注意
- ③適度に水分摂取を心がける
- ④直射日光を避ける
- ⑤バランス良く食べる
- ⑥冷たいものを食べ過ぎない

まだまだ暑い日が続きます。この6か条を心にとめて乗り切りましょう！